

アタッチメントと油圧ショベルを効率よく安全にご使用いただくために、下記の事項を必ず守って作業を行ってください。

①暖気運転、暖油運転を必ず行ってください

接続時にエアが混入したまま使用すると故障の原因となります。また、冷えたままの状態ではピンやブッシュ



・チゼルなどが傷む恐れがあります。使い始めは10分程度、7割以下のエンジン回転で作業を行ってください。

②グリスアップは1日2回以上行ってください

グリスの消耗は著しく機械を傷めます。また、散水作業を行っている現場ではグリスが流失しますので、こまめな給脂をお願いします。

③水や泥につけての作業はしないで下さい

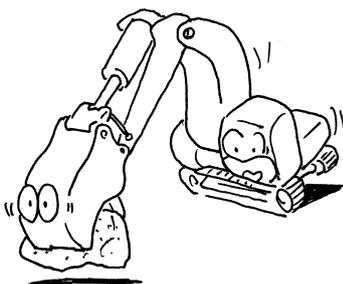
過度の磨耗はもちろん、作動油に水が混入すると油圧ショベルの故障にもつながるので、絶対に行わないで下さい。

④落下物に注意 解体物が落下する範囲内には、人が絶対に立ち入らないようにして下さい。

⑤不安定な場所での作業は禁止 アタッチメントはバケットと異なり重量があるので、予想外のゆれが発生する可能性がありますので、平坦で強固な床面での作業を行ってください。

⑥クローラに対して横方向の作業は要注意

クローラに対してブームを横方向に向けて作業をすると、ショベルが浮き上がったたり転倒する恐れがあります。



⑦ジャッキアップをしないで下さい

油圧ショベルのアームやブームに無理な力が加わり、アタッチメントもショベルも壊れることがあります。



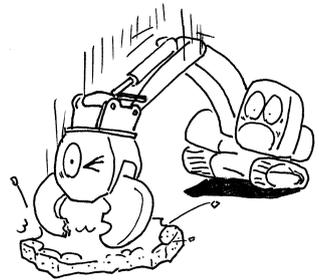
⑧こじらないで下さい

アタッチメントで柱や梁などのこじり作業を行うと、アタッチメントも油圧ショベルも壊れることがあります。



⑨たたかないで下さい

アタッチメントや油圧ショベルが壊れるのはもちろん、破砕物が飛散し大変危険です。



⑩カッター刃でコンクリートを噛まないで下さい コンクリートはヤスリのようなものなので、刃が磨耗して鉄筋が切れなくなります。

⑪ストロークエンドでの作業は絶対に行わないで下さい

油圧ショベルのシリンダーやリンク周辺に無理な力や衝撃が作用し、ピンの折損やリンクの曲がり、最悪の場合はシリンダーが抜けたりするなど大変危険です。

